

2021年度 メリー★ポピンズ 蕨北町ルーム 事業計画書

1 基本方針

どろんこ会の保育理念・方針に基づき、「にんげん力」を育てながら“子どもの最善の利益”を第一に保育を実践する。

「保育者も子どもも常に笑顔」・「ダメを言わない・ポジティブ思考」「子ども中心」を基に、「Trial & Error」「主体性のある保育」を目指す。

- ① 9時に園を出発し、体を十分に動かし、しっかりと食事を摂り、丈夫な体を作る。
- ② 子どもが自発的に活動を選んで経験・体験できる機会を多く設定し、喜んだり、おどろいたりしながら「感じる心」を育み、感じたこと、考えたことを自分なりに表現する。
- ③ 日課である座禅や雑巾がけなどをしっかりと行い、身に付ける。
- ④ 給食は発達に合わせて噛む力を育て、素材の味が味わえる状態で提供する。また、個々の食欲や好き嫌いを理解し、少しずつ何でも意欲的に食することができるようにする。
- ⑤ 畑仕事を体験することにより、食材への興味を持ち、食する事の大切さを知る。
- ⑥ すれ違った人と挨拶を交わし、いろいろな人たちがいること、いろいろな職業があることを知り、誰とでもコミュニケーションがとれるようになる。
- ⑦ 就学に向けて数量・図形・文字・運動・音楽表現を習得する。
- ⑧ 地域に開かれた子育て支援を実施する。
- ⑨ 保育の課題等への共通理解や協同性を高め、保育所全体としての保育の質向上を図っていくための園内研修を計画的に実施する。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

- ・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力の基盤を培う。
- ・受容的、応答的な関わりの中で、人と関わる力の基盤を培う。
- ・保育の環境構成を充実させ、子どもの発達援助、生活援助の知識を向上させる。
- ・日々の保育の中で豊かな感性と表現ができるような保育計画を立て、保育内容を充実させる。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

・地域の特性上、両親・子ども共に外国籍の方が多く、その国の言葉や風習により子育ての考え方に違いがあることを保育者全員で共有し、個々の保護者とのコミュニケーションをとりながら、その保護者の子育てに寄り添い援助していく。子どもの育ちを共有していくためには、子どもにとって大切なことは何かの観点から一緒に考えていく。日本での就学を考えている保護者が大半であるため、不安要素を出来るだけ取り除き、学校と連絡を密にしていく。

保護者をパートナーとして位置づけながらも、保育者はプロとして「子どもの最善の利益」を第一に個々の家庭に応じた対応策を考えていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

地域の実情を踏まえ、地域の子育てをしている保護者に対して、保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行う。園で行うスキル講座やイベントの内容が家庭に帰ってからも楽しめるものを計画し、充実したひとときとなるようにし、沢山の方に知って頂けるよう、Z o o m等も活用していく。

また、保育園が気軽に遊びに来られる場所になるように、出来るだけ園の様子を地域へ発信していく。

〈4〉 次世代を担う職員育成

・積極的な研修の参加、他園見学。法人理念のもと、職員一人ひとりの倫理観、人間性並びに保育者としての職務及び責任の理解と自覚を身に付ける。

それぞれが自発的に学びとったものを共有する機会を設定し、話し合いを繰り返すことで、学び合い育ち合える集団を目指す。

〈5〉 サービス向上

外国籍の子どもが多い地区の為、保護者が困っていることが多いと思われる。その為、保育者は保護者の立場に立って、どのように接すればよいかを学んでいく。言葉や文化の違いもあるので、“日本の文化“を受け入れてもらえるよう研鑽する。

〈6〉 職員の自己向上心を上げる

P l a n (計画)・D o (実行)・C h e c k (評価)・A c t i o n (改善)を繰り返すことによって、日々の保育を継続的に改善していく。子どもの発達に合わせた年間カリキュラムに基づいた月案、週案を作成・実施し、日々の振り返りを行い、改善していく。子どもの興味や発想を大切に、適切なゾーン保育を行い、子どもが主体的に活動できるよう、T r y a n d E r r o rを恐れず、目標を立て諦めずにやり遂げる。

〈7〉 必要な会議の実施と討議

保育理念、保育目標、運営方針に基づき、園に必要な会議を提案、実施し、全員が討議（ディスカッション）できるよう、グループワーク、ロールプレイングなどを行い、職員自ら適切な答えを導き出す。

2 児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
0人	8人	9人	10人	10人	10人	47人

3 保育園開所時間

7時～20時

4 職員配置

常勤職員	8人	保育士	7人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート職員	4人	保育士	3人	補助	0人	事務	0人	調理	1人
		用務	0人						
嘱託職員	0人	嘱託医	0人	言語聴覚士	人	臨床心理士	人		

5 運営方針

〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	保育の振り返り、次月目標設定、ディスカッション グループワーク、園内研修（エピソード研修） 他
給食運営会議	月1回	調理、食事提供の改善案、ディスカッション クッキングの企画、打ち合わせ 他
ケース会議	月1回	個別配慮を要する子どもについて、その対応 他
クラス会議	適宜	指導計画の適正、子どもの発達、援助について 他
各係、担当会議	適宜	業務の見直し、改善、企画 他
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット、インシデント、事故記録簿の検証 他

-2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	議題協議、グループ全体の伝達事項、共有事項の周知
施設長勉強会	月1回	保育園の課題を検討しながら、法人・社会全体のスキルアップを図る
食育会議	年4回	課ごとに給食業務改善
保健会議	年4回	課ごとに園児健康管理業務改善

〈2〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	保健計画の作成及び振り返り、嘱託医へ健診の依頼連絡、当

	日の手伝い、検体取りまとめ・投函、書類のチェック・ファイリング、室内・戸外のハザードマップ作成・見直し・変更
安全対策係	毎月の避難訓練計画、消防署へFAX、保護者宛お知らせ、玩具破損チェック、室内外の危険箇所チェック、自主点検表準備、事故防止委員会議事進行
防火管理者	施設の火元の管理、消防計画の作成と届出、防火・消火についての毎月1回の職員訓練を行う
食品衛生責任者	保育園の給食、食育に関する取り組み、給食食材および提供食材の衛生管理と在庫状況の管理 他
畑係	ファミリー菜園の申し込み 年間農業計画の遂行状況の確認や整備、畑の管理
生き物係	飼育全般に対する管理
備品係	備品の整理および管理、発注の取りまとめ

〈3〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
運動会係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行 他
生活発表会係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行 他
入卒園式係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行 他
写真、アルバム係	行事ごとの写真の取りまとめ（毎月）、卒園アルバム製作
子育てサロン係	地域の方へお知らせの発信、年間予定に基づいた企画、準備 当日の進行、相談の受け答え、書類記入

6 保育方針

〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 1~2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい環境に慣れ、生活リズムを整える。 ● 子どもの自我の発達を受け止め、安定した人間関係を築く。
	下半期 1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な環境に興味や関心をもって関わり、様々な体験を積み重ねる。 ● 発育に応じて、遊びの中で体を動かす機会を十分に確保し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。
幼児保育	上半期 3~5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 異年齢での大きな集団で過ごし、自分以外と多くの関わりを持つことで好奇心が育つ。 ● 年長児が3歳児と共に生活する中で、優しく接すること、自分が知っていることを教えるなど年長児としての自覚をもつ。
	下半期 2~5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 異年齢児で活動を行う中で、互いに刺激を受け合いながら自分達で課題を解決する力が身に付き、相手の気持ちに気付くことができる保育を行う。友だちとの間で様々な葛藤を経験しながら自分たちで約束やルールを作っていく保育を行う。

		● 集団の中の自分という存在を受け止め、自分自身と他者の良いところを認められるようになる。
保育参加	4～3月	● 希望する保護者が参加／保育参加アンケートにご記入いただく
保護者面談 発達相談	随時	● 随時、希望する保護者に対し実施 ● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望 への対応	随時	● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用
運営委員会	年2回	● 6月と11月に実施予定

〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営方針

- 家庭との連携を図りながら、保育者・調理員など全職員がプロとしての専門性を活かしながら共に食を営む力の基礎を作る。特に、低年齢児の保護者向きに講習等を設け、食の大切さを理解してもらう。
- 自分たちで栽培し、調理したものを食べることで、食の楽しさ・大切さ、自然の恵み、命の大切さ、食の循環サイクルを知り、いろいろな食材に感謝の気持ちを持って食する。
- たくさん遊んで体を動かし、空腹感を感じられるようにする。
- 行事食や他国の食文化に触れ、食への関心を広げる。
- 正しい食事のマナーを身に付け、楽しく気持ちの良い食事の時間を作る。

〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	毎月の身体測定、手洗いうがい指導、歯磨き指導等
流行が予測される感染症	通年...新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 夏季...ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜炎 冬季...インフルエンザ・ウイルス性胃腸炎（ノロウイルスなど） 溶連菌感染症
発作・痙攣等の対応のため	エピペン・・・1名より預かり済み／事務所にて保管

めの薬の預り	
エピペン使用できる職員	本日現在9名が、研修受講し、習得済み。未受講の職員3名については5月31日までに受講予定。
AED使用できる職員 (AED設置施設のみ)	本日現在2名が、研修受講し、習得済み。未受講の職員10名については5月31日までに受講予定。
その他保健に関する取組	主に5歳児を対象に性教育指導 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティーチェック	年2回／5月・11月
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回／6・11月の30日頃（東京都0歳児のみ年12回実施）
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉 環境整備

- ・日々、早遅番による園内点検を行う。
- ・週1回、全職員が自分の担当する室内の環境整備を行い、子ども達が安全に生活できるか確認する。特に、棚の上の整理整頓、清掃の他、子ども達がいつでも気持ちよく生活できるようになっているか、自らが生活することを考えながら清潔な環境を整える。
- ・玩具は発達状態に合わせたものを準備し、いつでも好きな遊び、好きな玩具が使える状態にしておく。
- ・リズム遊びや運動遊びの時は、のびのびと体を動かせる広さの部屋を確保し、安全で自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。
- ・副園庭となっている蕨北町公園とそれ以外の公園の安全面、衛生面（ゴミやタバコの吸殻の始

末) など、特に注意すると共に、散歩時も常に環境面に留意する。

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- ① 全体を通して法人のマニュアルに従って行動する。過去の事例や予測される事故は職員全員周知の上、事故に発展することがないように注意喚起する。しかし、必要以上に危険回避をすることは、子どもの「乗り越える力」「生きる力」を損なうことにもなりかねないので、職員全員の総意のもと意識の統一を図る。
- ② 安全管理係を中心に日頃より防犯に対する意識を高める。災害は突然に起こるものなので、日頃からシミュレーションを行い、避難訓練を有効に活用する。
- ③ 事故・怪我においては心身共に苦痛をおった子どもと保護者の気持ちに誠意を持って応えることが重要である。どんな小さな怪我でも保護者に伝え忘れないようにする。また、前日のどんな小さな怪我(発熱も含む)も登降園ボードに記入することにより、翌日の担当保育者が保護者及び子どもに声を掛け、状況を把握するようにする。
- ④ 防犯に対する訓練は1年に2回行っているとはいえ、日々の生活の中で常に意識することが重要である。散歩時における対応や園内における対応の仕方など会議で話し合い、対応の仕方を共有する。
- ⑤ 光化学スモッグについては、市役所の情報を素早く園内及び園外にいる職員に周知する。特に園外にいる職員に対しては、「素早く日陰に行く」「保育園に戻る」などの対応を考えるよう、日頃から注意する。また、園内に居る場合にも窓を閉めるなど、子ども達の健康状態に留意する。

8 実習生・中高生の受入

次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために、近隣の中学校や依頼のあった高校生の体験学習を積極的に受け入れる。また、保育養成校の実習の受け入れや地域の方のボランティアなども受け入れる。

9 職員育成と研修計画

新人研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修

新人社員研修

- 新人社員研修
 - 会場研修
 - 系列園保育実地研修



←避難訓練研修

スタッフ研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 保護者対応マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、「保護者の立場に立って見て、欲しいサービス」「保育者」とは何かを話し合う。 ・毎月、子どものエピソードを1つ取り上げ、保育者が楽しんで出来る保育を目指す。 ・おもてなしマナーの習得。 ・正しい言葉遣い、やさしい日本語が使えるようになる。
5月	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 食育・アレルギー児対応 ・エビペン・AED	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する知識を身につけ、子ども達の食べる意欲に繋げていけるようにする。 ・アレルギー児への対応や対処法などを知る。 ・エビペン・AEDの使い方を知る。
6月	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 子どもの食と発達	<ul style="list-style-type: none"> ・手づかみ食べるの必要性や口腔発達、子どもの好き嫌い、どう付き合っていくか?等を学ぶ。
7月	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 子どもの発達・遊びと運動について	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育、発達について学び、年齢にあった遊びを考える。 ・職員間での情報共有を行う。 ・丁寧な保育、言葉かけを知る。
8月	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 危機管理・事故防止・防	<ul style="list-style-type: none"> ・各々が気をつけるべき点を徹底的にあげ、事故を起こさない、繰り返さないようにする。 ・東日本大震災の教訓から、防災の意識を高め、訓練を重ねる。そのためのノウハウを学ぶ。

		災・	・発電機の使い方を知る。
9月	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 文化・歴史・宗教を学ぶ	・在園児の国籍の違いから、日本とどのように違うのかを文化や歴史から学ぶ。 ・保護者との関係性強化や相談しやすい環境を作るきっかけとなる。
10月	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 発達障害とは	・気になる子どもへの対応や、接し方、保護者への対応などを学ぶ。 ・障害とは。
11月	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 感染症	・感染症が流行する前に、再確認する。 ・防止策・対応策を考える。
12月	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ さくら・さくらんぼ体操	・次年度の園内研修を策定する。 ・正しい身体の使い方や、楽しく出来る方法、言葉掛けなどを学び、実践していく。
1月	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 手作り玩具・手遊び・読み聞かせ	・子どもの発達に合わせた、玩具作り。 ・手遊び、読み聞かせの必要性を学ぶ。 ・実際にやってみる。
2月	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 今年度の反省から来年度へ向けて	・今年度を振り返り、来年度に繋げていく。
3月	18:00～20:00	① 策定会議	・来年度の行事などを策定する。

② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
4/27 (火)	19:00～21:00	社会人としての基本マナー・接遇	渋谷本社	0円	0円
5/25 (火)	19:00～21:00	DIYの遊具の実践的活用と安全点検	中目黒どろんこ保育園	0円	0円
6/8 (火)	19:00～21:00	子どもの力を引き出す保育の境界線 ～あなたは信じて待っていますか？～	前原どろんこ保育園	0円	0円
7/27 (火)	19:00～21:00	親子関係の発達と食行動の発達 食を通して形づくられる愛着関係とは	東寺尾どろんこ保育園	0円	0円

8/24 (火)	19:00～21:00	自我の発達と食行動の発達 楽しく食べる食育で「心」「自己肯定感」「生きる力を育てる」	東寺尾どろんこ保育園	0円	0円
9/28 (火)	19:00～21:00	保育園で大切なマネジメントとは？ ～キャリアアップ研修から～	鶴見どろんこ保育園 新羽どろんこ保育園	0円	0円
10/26(火)	19:00～21:00	食育の奥深さ「食”には一つ一つに意味がある」	郡山どろんこ保育園 駒沢どろんこ保育園	0円	0円
11/25(火)	19:00～21:00	さくらさくらんぼリズム	子ども発達支援センター つむぎ浦和美園	0円	0円
12/14(火)	19:00～21:00	園庭の無い保育園での火・水・土の挑戦	駒沢どろんこ保育園	0円	0円
1/13(木)	19:00～21:00	併設園での挑戦	つむぎ新羽ルーム つむぎ八山田ルーム	0円	0円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（ 保育の質会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正職員およびパート・アルバイトを含めた12名の職員が出席予定											
リーダー養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デンマークイン ターンシップ	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次半期の目標設定」と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。

社会人としての基本的なマナー（接遇）、子ども、保護者、職員同士の言葉遣いの違いの学習・実践を行う。協働の意味を知り、自らコミュニケーションがとれるようにする。

子どもの発達理解や年齢別の保育に係る学習を行う。ゾーン遊びの意味と必要性を理解する。遊びの本質を考察し、実践に活かす学習、その都度アドバイスを行う。

保育所保育指針や子育て支援制度の学習を行う。

10 地域交流計画

法人理念における保育方針の「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」にある通り、園外に出掛け近隣住民や身近な人と様々な関わりを経験し、子ども達一人ひとりが地域に愛される存在になるよう計画し実践する。

具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：ふれあい公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	・乳幼児の様子に合わせ、高齢者福祉施設や近隣住民との交流を企画し、日々の保育活動の中で積極的に交流を行う。 ・小中高生の職場体験や幅広い年齢層のボランティア受け入れを行う。
異年齢交流	・主に3～5歳児は日常的に異年齢保育を行い、年少児と年長児の生活の中での関わり合いが密になるよう工夫する。 ・1～2歳児は子どもの様子に応じて異年齢で過ごせる機会を設け、様々な人との関わりが充実するよう配慮する。
地域拠点活動	地域親子に向けて、子育て支援として「子育てサロン」の開催、子育ての相談を行う。
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

11 小学校との連携の計画

以下計画について、蕨市内の小学校と相談・協議を4月より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	計画したい活動名（会場）	内容
10月末頃	北小学校	10名予定	学校公開週間	子ども間交流
10月末頃	西小学校	10名予定	学校公開週間	子ども間交流
10月末頃	中央東小学校	10名予定	学校公開週間	子ども間交流
2月頃	北小学校	10名予定	新入園児 園児参観	子ども間交流

12 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

・個別配慮を要する子ども達の支援は、個別計画を立て保護者と共有しながら子どもをみるようにする。

・集団生活に馴染めない、その子にとっての計画であるが、他の子たちも含めての育ち合いの視点を考える。その子が社会で生きていくために保育園で丁寧に関わることにより少しでも安心して生活ができるよう援助する。

発達の偏りというべきその子の能力の低い部分だけに焦点をあてて矯正するのではなく、能力の高い部分を引き出すように援助し、足りないものを補おうとする努力ではなく、伸びる部分を延ばすことにより、その他の部分の力に変えていく援助を考える。

【毎月のケース会議開催】4～3月に計12回開催予定 参加者：10名予定

・園児全員の現在の発達経過報告、特に注意し、援助が必要な子どもの現在の状況と今後の対応について話し合い、援助の仕方の共有を行う。

【進級引継、および、小学校への引継】

・特に幼児クラスにおいては就学を見据えて必要に応じて関係機関との連携を図っていく。

13 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい月間延来場者数を自治体に報告する。

園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂	月2回 (土) 10:00～11:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	月1回 (水) 10:00～12:00
寺親屋	年4回 (土) 10:00～11:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：ふれあい公園にて開催

14 福祉サービス第三者評価の受審

受審なし

15 園による自己評価の実施

2021年9月1日「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時

自己評価終了予定時刻：17時

自己評価実施予定者：全職員対象

16 メリー★ポピンズ 蕨北町ルーム3か年計画の具体化

2021年度

- ・「Trial & Error」の実施継続。
- ・乳児・幼児と一緒に遊び、暮らすことで、「自由に行き来する大きな家」を目指す。
- ・表現活動（言語・造形・音楽）の中で、本物に触れ合うことで感性を磨く。
- ・保護者への相談・援助対応を積極的に行い、保護者と国籍を越えて、一緒に子育てができるような関係をつくる。

2022年度

- ・保育者一人ひとりがリーダーであるという意識を持ち、責任感を持って保育を行い、保育者同士認め合える関係になる。また、職員一人ひとりが、自分の得意分野のスキルを伸ばし、子ども達に自信を持って接することが出来るようになる。
- ・研修に積極的に参加し、子どもの発達を十分に理解できるようになる。また、職員間での共有を行うことで、全職員の意識を高める。

2023年度

- ・見学者や地域の方々などへの対応を丁寧に行い、地域で選ばれる園になる。
- ・自園を「他の人に薦めたい」と言ってもらえるよう、保護者への対応を密に行う。
- ・乳児・幼児と一緒に遊び、暮らすことで、「自由に行き来する大きな家」を目指す。
- ・表現活動（言語・造形・音楽）の中で、本物に触れ合うことで感性を磨く。

以上

作成日：2021年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 蕨北町ルーム 施設長 前橋佳代子